

鉄研通信 (第4号 平成28年9月②)

文化祭を振り返る

今年も多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。今年はいつもの清風名物ジオラマに加え、展示物(写真①②)を増やしました。ご覧いただけましたでしょうか。また機関誌「第一こだま」(写真③)も、これまでの手書きからパソコンで提出させるようにし、さらにはホームページでご覧いただけるようになりました。そして何と言っても今年一番の目玉は、我々が鉄道研究部に新型車両(?)が導入されたことです。私たち部員は「カメラカー」(写真④)とよんでいます。ジオラマの臨場感がより伝わりやすくなったと思います。

写真①



(生徒の旅行自慢です～乗車券類)

写真②



(夏の合宿行程を紹介しています)

写真③



(年1回の発行です)

写真④



(中央線 e233 がテレビカーです)

文化祭に向けての準備はこんな感じです

レイアウト台の設定は手慣れたものですが、そのあとが大変です。まずは走らせる車両の決定（写真⑤）です。ご来場のみなさんにも喜んでもらいたいので、車両の見栄えも含め、部員たちは真剣に話し合います。次に、車両基地の様子（写真⑥）です。部員の持ち寄った車両を、皆さんに楽しんでもらえるように配置も考えています。

写真⑤



(どこに何を走らせるか…真剣です)

写真⑥



(一番気を遣う場面です)

来年の文化祭に向けて

長年の使用により、レイアウト台もあちこちで修繕箇所が見つかりました。これまではおもにレール交換だけに頼っていましたが、そろそろ限界に近づいてきているようです。まずは修繕技術の基本的技能を身につけるべく、部員一同、研鑽を積んでいきたいと思えます。

また、クラブ活動も校外研修を充実させていく予定なので、その様子を皆さんにも見ていただけるよう、従来の鉄道模型体験だけでなく、展示の充実にもさらに力を入れていきたいと考えています。

来年の文化祭で、皆さんとお目にかかれますこと、部員一同、心よりお待ちしております。